

「この街」のために。「あなた」のために。

そうこう[®]

S O U K O U

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111

2020年11月号(月刊) 発行：社会医療法人 壮幸会 行田総合病院



2020 / 11月発行 / vol.060

SPECIAL ISSUE ▶

『循環器内科 2020』 『お酒と不整脈』 『寒さと循環器疾患』

NEWS & APPENDIX ▶

第8期 増築工事着工！ / 循環器内科から地域の皆様へ

循環器診療を支えるチームのご紹介

循環器内科

2020

循環器内科部長

興野寛幸



皆さんは「チーム医療」という言葉を聞いたことがありますか？ どの分野でもそうだと思いますが、医師単独でできることには限りがあります。現代の医療では、その診療科の医師以外の医療系職種（コメディカルと呼ぶことが多いです）の方たちとの連携で患者さんの治療に当たることが一般的になっています。

当科では、平日は24時間体制、土・日曜月に2週の24時間体制での緊急カテーテル治療への対応を含め、多数の外来・入院患者さんの治療に当たっています。今回は、このように忙しい我々を支えてくれている方々を、コメディカルスタッフ以外も含め、ご紹介したいと思います（順不同です）。

① 院内他科の医師・地域の診療所やクリニックの医師

当院の医局は他科同士の風通しが良いという特徴があります。そのため、救急外来の医師が心臓病の搬送患者さんの初療に当たってくれたり、院内他科の医師が心臓病を見つけて紹介してくれたりといった、循環器内科以外の先生から多くのサポートをいただいています。

また、心臓病で入院される患者さんは、必ずしも心臓だけが悪いわけではありません。他の臓器の疾患も併発している場合も多く、院内の各分野の専門の先生と相談しながら治療方針を決定しています。

一方、外来に関しては、地域の診療所・クリニックの先生と連携して治療をお願いしています。通常の毎月の診察や処方ばかりつけ医で、年数回の定期チェックは当院で、というような連携体制で対応いただいている患者さんも数多くいらっしゃいます。

② 病棟看護師

入院中の患者さんケアのエキスパートです。医師が気づかないような軽微な変化や症状をいち早く察知したり、患者さんの精神的支えになったりと、病棟の中心的存在です。

③ 病棟薬剤師

入院患者さんの多くが、複数の薬剤を使用しています。飲み合わせに問題がないか、処方量が適切かどうか、患者さんが内服を守れているか、副作用は出ていないか、他に適切な薬剤の候補はないか、など様々な視点から医療に貢献いただいています。

④ リハビリ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

意外かもしれませんが、心臓病の患者さんもしリハビリを行います。循環器内科では、主に理学療法士が、患者さん個々の病状や体力に応じて、適切な負荷量で毎日リハビリに当たってくれています。

心臓病の回復には必要不可欠な存在で、退院後の日常生活まで見据えた細かなリハビリが当院の特徴でもあります。このほか、脳梗塞を併発している方や嚥下困難の方などに対しては、それぞれ作業療法士や言語聴覚士も担当してくれています。

⑤ 管理栄養士

心臓病の多くは生活習慣病が基礎にあります。そのため、患者さんに対する食事内容の聴取を行い、適切な栄養指導を行っています。それ以外にも、入院患者さんの栄養状態の把握や、どのような食事形態が望ましいのか

といった細やかな視点で介入いただいています。

⑥ MSW（医療ソーシャルワーカー）

福祉の専門職で、病気になった患者さんや家族の悩みや課題の相談に乗り、より良い社会生活が送れるように支援してくれています。

特に退院の際に、自宅退院なのか、老人ホームなどの施設が良いのか、どのような福祉サービスが得られるのか等、患者さん一人ひとりに合わせた支援を行っており、病院には欠かせない存在です。

⑦ クラーク

入退院時の様々な手続きや、病院とかりつけ医間の情報提供書の準備など、主に書類関係を中心に様々なことに対応していただいています。

⑧ 看護助手

食事の配膳や部屋の掃除・ベッドメイク、患者さん移送のお手伝い、病棟の様々な物品整理など、多くの仕事を任せていただいています。

カテーテル室では、以下のような職種のサポートがあります。

① カテーテル室担当看護師

患者さんが安心して検査・治療を受けられるような声かけ、症状や血圧・呼吸状態などの変化の観察、必要な点滴や薬剤の素早い準備など、医師の目が届きにくい点

を重点的にサポートしてくれています。

② 診療放射線技師

院内のレントゲン・CT・MRIなどの画像診断装置の取り扱いを行っています。

カテーテル室では、検査治療に使用するX線透視装置の保守・管理から、実際の撮影時のカメラの位置調整も担当し、少ない放射線線量で良質な画像が取れるように努力してくれています。また、術中に必要な画像を速やかに提示するなどのサポートも大きな役割です。

③ ME（臨床工学技士）

元々は院内の人工呼吸器や生体モニターなど各種医療機器全般の保守・管理と実際の運用を担当する職種です。特殊なところでは、透析室での機械操作も担っています。

カテーテル室においては、検査・治療の際の助手として参加してもらったり、血管内画像の解析を行ったりと、様々な形で貢献してくれています。個人的には、当院最大の縁の下の力持ち、と思っています。

外来では、以下のような職種のサポートがあります。

① 外来看護師

外来患者さんのサポートを行う中心的存在です。外来診察時の補助だけでなく、体調が悪い方には前もって全身状態のチェックや、検査時の移動手段を工夫したりなどの対応をしております。また、各種検査の説明や入院が決まった患者さん・ご家族に対する細かなご案内も担当しています。

② 臨床検査技師（生理検査）

血液検査の分析から心電図・超音波検査など様々な検査のエキスパートです。当院は患者さんが多いにも関わらず、非常に多くの検査に迅速に対応してもらっています。循環器疾患については、特に急を要する検査も多いのですが、いつも速やかに対応してくれています。異常所見があったときには、いち早く直接医師に連絡し、早期治療につなげてくれています。

③ メディカルアシスタント

患者さんの診察以外に医師が行うべきことは、実はたくさんあります。特に書類関係は複雑で多岐に渡ります。また、電子カルテに様々な事項を入力する必要もあります。混雑した外来ではスムーズに対応することができませんので、医師の指示の元に書類を作成したり、代わりに電子カルテに入力したり、様々な形で医師のサポートを行ってくれています。外来看護師と協力し、患者さんの次回予約や検査の説明なども行っています。

以上、代表的な職種を挙げて簡単に説明しました。すべてを紹介することはできませんが、実際は、病院にはこのほかに多くの職種の方々が働き、貢献してくれています（ここで紹介できなかった皆様、申し訳ありません）。

私たち、行田総合病院の職員が力を合わせて、この地域の皆様の健康維持に貢献できるよう、今後も努力して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



循環器内科医師

生天目 安英

お酒はほどほどに！...ほどほどにってどのくらい？

お酒と不整脈



●はじめて

私は不整脈の患者さんを診察する機会が多いのですが、よく「お酒はこのくらい飲んでもいいのですか？」と尋ねられます。そんな時、心の中で「それは自分がよくわかっていてしょう」と思いつつ、「飲まないに越したことはないけど、ほやほや」と答えています。お酒を飲んだ時や後に、ドキドキと不整脈を感じる患者さんが多い印象を受けます。

今回は、「お酒と不整脈」についてふれたいと思います。

●お酒のじやわね・格言

お酒は昔から、文化や生活に密着しており、たくさんのことわざや格言が残されています。【酒は百薬の長】これは知っている方が多いと思いますが、適度なお酒はどんな薬にもまさる効果があるという意味で、お酒の長所を表した言葉です。大酒家の多くの人が「お酒は善」と強く主張する源となっております。

では、こんなことわざは、「酒は百毒の長」。お酒には良い点は何もなく、毒そのものではないかと。その通りです。まるっきり反対のことわざで、お酒の短所を痛烈に表した言葉です。このほかに、お酒の功罪を表現したことわざや格言はたくさんあります。お酒はいいのか？ 悪いのか？

●お酒と体の関係

お酒を飲むと・・・顔が赤くなる。多弁になる。陽気になる。気が大きくなる。おしっこが近くなる。脈が速くなる。頭痛がする。ふらつく。記憶がなくなる。これは、お酒の短期的な作用で、自律神経に作用し、血管を拡張したり、脈を速くしたり、利尿ホルモンを促したりします。また、脳神経を抑制する程度により、陽から陰へとマイナスのイメージが強くなります。

長期的な作用は、アルコール依存症、アルコール性肝障害、アルコール性神経障害など多臓器に悪い影響が起ころうとします。

●お酒と血圧・脈・心血管の関係

お酒の心血管系への作用について、一般に飲酒後は心拍数が増加し、血圧は低下します。これは主に交感神経系の活動亢進と血管拡張によると考えられます。この心拍数増加と血圧低下は、飲酒後顔が赤くなりやすい、いわゆるお酒が弱い人がなりやすい傾向にあります。お酒の慢性摂取時には、飲酒後24時間を通して心拍数が増加したり、血圧は飲酒後低下し、翌朝と昼には上昇するといった報告があります。

このお酒の利点を一つ。心筋梗塞や狭心症などの虚血性心臓病は、お酒を飲まない人より飲む人が、リスクが低いというところが報告されています。

●お酒と不整脈の関係

お酒は、飲酒直後と離脱時で自律神経に強い影響を与えます。心臓の心拍数はこの自律神経に影響を受けるため、つまりお酒が心臓に揺さぶりをかけることで、不整

脈が起きやすくなります。また、利尿効果により、カリウムが低下したりする電解質異常も不整脈が起ころうとします。脈が速くなる洞頻脈、脈が飛び感の期外収縮、脈が乱れる心房細動などの不整脈がアルコールにより出やすくなります。大酒家や長期の飲酒により、心臓の組織に変化が起ころうと、不整脈が起ころうやすくなり、また持続しやすくなると報告されています。

●お酒の「飲み量」や「酔い」

お酒の「節度ある適度な飲酒量」は、1日平均アルコール量で20g程度とされています。お酒の種類や度数によって異なりますが、ビール中瓶1本(500ml)、日本酒1合(180ml)、赤ワイングラス2杯(200ml)、焼酎半合(90ml)くらいが適量とされています。

日本人は遺伝的にアルコール(Aセトアルデヒド)を分解する酵素の弱い人が多く、適度な飲酒量であっても

不整脈を引き起こす可能性は十分にありま。お酒を飲んだ時に不整脈が出やすいかどうかはご本人が一番わかります。

私見ですが、お酒のほどほどとは、節度ある適度な飲酒量でかつ、不整脈が出ない量、と言えるでしょう。





循環器内科医長

猪俣純一郎

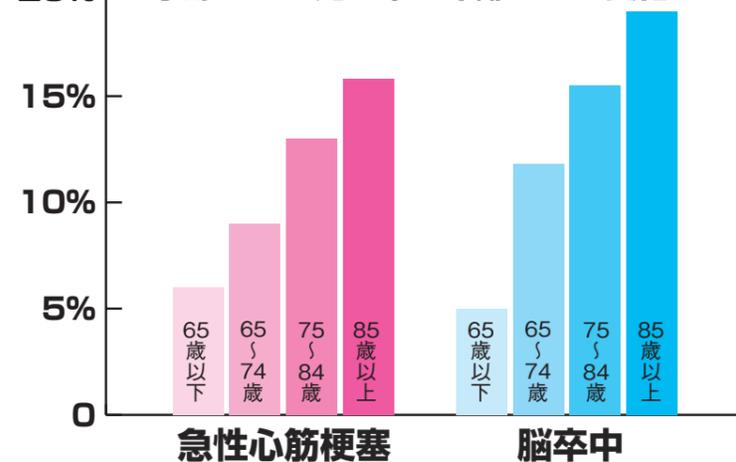
冬が来る前に知っておきたい

寒さと循環器疾患

今年も早いもので、もう冬になり、寒い日も多くなってきました。行田で雪が降ることは多くありませんが、冬の寒さとはなだに比べても気になるところかと思えます。この冬が暖冬になるのか厳冬になるのか、私には予想できませんが、今回は冬の寒さと循環器疾患についてお話したいと思います。お話を簡単にするために循環器疾患のうち、狭心症、心筋梗塞といった虚血性心疾患と、脳梗塞や脳出血といった脳卒中に内容を絞り、これらをご紹介は「循環器病」と呼ぶことにします。

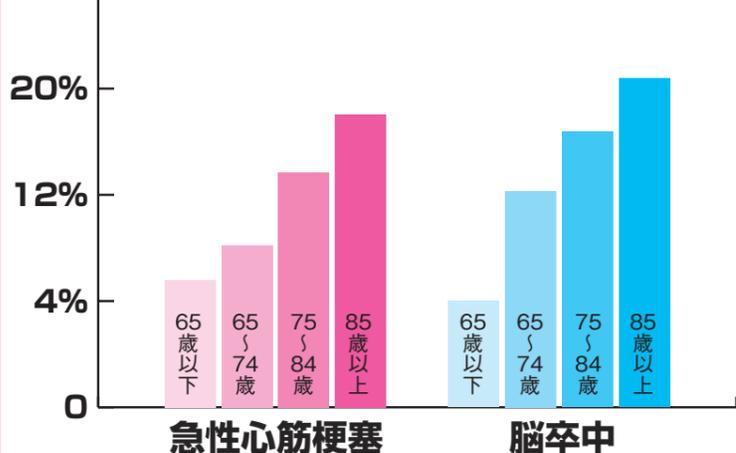
寒さは、循環器病とどう関連するのでしょうか。循環器病は、生活習慣病と密接な関連があり、日々少しずつ少ずつ、動脈硬化、血管の傷みが生じ、私たちの体にその基盤ができていきます。一方、寒さなどのストレスは、その発症を促します。ストレスは、誰もが経験したことがあると思います。学校のテスト、発表会、肉親との死別や交通事故など、様々なものがあります。「寒さ」も体にとって大きなストレスになります。ストレスを受けると、体の交感神経が働き、血管を収縮させたり、心拍数を速めたりします。運動会の競争の前の「ドキドキ」

季節による死亡率の年齢による変化



【図1】 季節による心筋梗塞と脳卒中による死亡率の相対危険度の比較
Tej Sheth Journal of the American College of Cardiology 1999;33:1916-9より、引用、改変。

夏と比べた時の冬における死亡増加率



【図2】 年齢と夏と比べた時の冬における心筋梗塞と脳卒中による死亡増加率の関係
Tej Sheth Journal of the American College of Cardiology 1999;33:1916-9より、引用、改変

を示しています。他の季節、特に夏と比べ、これらの病気による死亡のリスクは、冬が最も高くなっています。そして【図2】は、少し難しいのですが、年齢と、夏と比べた時の冬の死亡増加率の関係を示しています。どの年齢でも冬の死亡数が夏と比べて多いのですが、このグラフは、高齢になるほど、心筋梗塞や脳卒中での死亡が、ラフは、高齢になるほど、心筋梗塞や脳卒中での死亡が、寒さにより増えることを示しています。

年齢を重ねると、循環器病以外の病気にもかかりやすくなり、身体の予備能も低下していきます。そのため、すくなく、身体の予備能も低下していきます。そのため、また昨年の「そうこう7月（ホームページでご覧いただけます）」でお話したような生活習慣病も循環器疾患の発症や悪化に寄与します。どうしても起こってしまう心臓病、避けられない心臓病はもちろんあります。しかし皆様には、防寒なども含めた生活習慣への注意、改善が、循環器疾患の予防、悪化の阻止に役立つという、頭の片隅に置いていただきたいと思います。

令和も2年目となり、それももう終わろうとしています。新しくなった我が国の総理大臣は、「自助 共助 公助、そして絆」という理念を掲げておられました。私は政治のことは話せませんが、皆様にはぜひ生活習慣に注意し、

ストレスを避け（自助）、周りの方々への声がけや環境

整備でストレスを除いてあげて（共助）、この令和の冬をのりきっていただきたいと思います。ささやかながら、私も行田総合病院循環器内科も皆さんの循環器疾患の検査や治療でお手伝い（公助）ができれば、と思っています。私どもは、循環器疾患の地域医療を通して、この地域の方々の絆づくりを応援していきます。今後ともよろしくお願いたします。



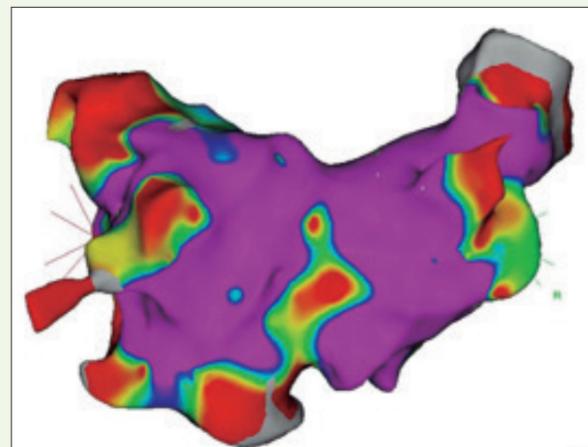
心房細動になってどのくらいになりますか？（持続期間）

心房細動の程度には個人差が多く、内服治療で改善する例や、カテーテルアブレーション治療が可能な例があります。ただし、すべての心房細動がカテーテルアブレーション治療で治るわけではありません。

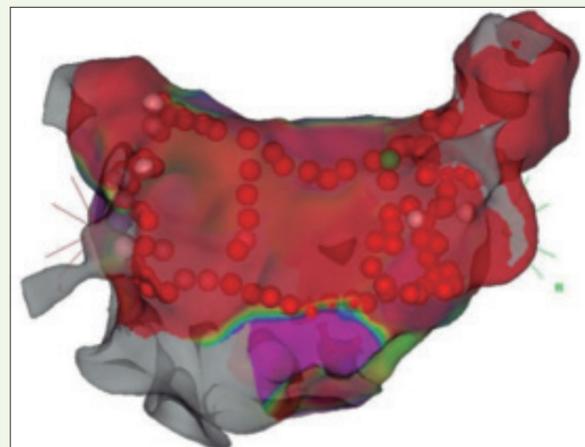
おおまかな目安として、心房細動の持続期間が治療に影響します。治療効果が一番大きいのは、発作性心房細動といわれる心房細動になって1週間以内の心房細動です。

次に、1～2年以内の持続性心房細動の治療効果が高いです。2年以上の慢性心房細動では成功率が低下し、10年以上だと再発が多く、難しいというのが本音です。もちろん、心臓（心房）の大きさなどが、治療に影響をおよぼします。

当院では、持続期間の比較的長い心房細動に対するカテーテルアブレーション治療も行っています。個々の例で適応を検討しておりますので、主治医と相談の上、循環器内科外来を受診いただければ幸いです。



カテーテルアブレーション治療前
左房後面像



カテーテルアブレーション治療後
肺静脈および後壁隔離術後

高度石灰化病変に対するロータブレードが導入されました。

（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル）

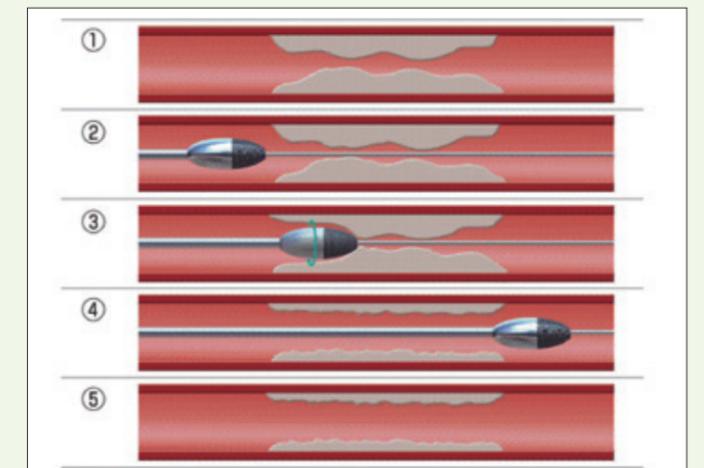
狭心症の患者さんの治療に際して、血管内の狭窄を拡張する際に、通常はバルーン（風船）を用いて拡張します。しかし、「動脈硬化」というように、中には非常に病変が硬く、通常の治療用のバルーンでは歯が立たない（バルーンが破裂してしまう）例が散見されます。原因は「石灰化」で、骨と同じような硬い組織になっています。こういった病変に対しては、血管を拡張させるためのステント（金属製の網状のチューブ）を留置できず、治療が困難です。

ロータブレードは、人工ダイヤモンドチップが埋蔵されたバーと呼ばれる小さなドリルが毎分18万回回転程度という高速回転をしながら冠動脈内の石灰化した病変を削る道具です。この道具は、原則として、硬いもの（石灰化した動脈硬化）のみを削り、柔らかいもの（通常の血管壁）は削らない、という特徴があります。病変部の硬い石灰化が削れれば、バルーンで十分に拡張した上でステントの留置が可能になります。

従来は心臓血管外科を有するような大きな病院でしか施行できませんでしたが、今回、関連学会からの施設基準の改定に伴い、当院でも使用可能となりました。すべての患者さんに必要という道具ではありませんが、この道具がないと治療が完遂できない、という患者さんは一定頻度存在します。前任の病院でのこの道具の豊富な使用経験と、海外医師への長年の指導歴を生かし、安全面に気を付けながら、必要な患者さんに役立てていきたいと考えています。



▲ロータブレードの先端構造（バー）の拡大写真
© 2020 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.



▲ロータブレードによる治療の流れ
出典：インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラス

予約制

オンライン面会 やっています!



●オンライン面会の時間と予約

※あらかじめ各病棟への予約が必要となります。

予約：TEL.048-552-1111 (各病棟で予約をお取りください)

月～金曜日 14:00～17:00

土・日曜、祝日 12:00～17:00 の時間帯で10分程度。

※医師の判断や入院患者さんの希望により、オンライン面会をお断りする場合があります。

●オンライン面会は、

当院へご来院いただいた方のみご利用になれます。新南棟 1F ロビーフロアから病室の患者さんとタブレットを使用してお面会となります。

端末は当院でご用意しているタブレットをご使用いただきます。台数に限りがありますので予約制とさせていただきます。

※ご予約は、病院代表へお電話いただき、
患者さんが入院している病棟をお伝えください。

社会医療法人 社幸会
行田総合病院

社会医療法人 社幸会
行田総合病院

行田総合病院

第8期増築工事着工!

2020年9月16日(水)に地鎮祭を行い、

いよいよ行田総合病院の第8期増築工事が始まりました。

24時間365日継続する医療。『断らない医療』を柱に救急医療から在宅までさらに一歩ずつ、地域の未来を担う総合病院としての役割を果たしてまいります。

・1階 / 救急センター

画像センター (CT、MRI) 内視鏡センターなど

・2階 / ICU棟

集中治療棟

・3階 / 一般病棟



2020.10.01 撮影

・4階 / 手術室

高度治療室・ハイブリッド手術室を含む全6室

2021年9月完成!

GYODA GENERAL HOSPITAL

「この街」のために。「あなた」のために。

そうこう

S O U K O U

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111